

選考委員賞

大切な生き物との調和

赤坂中学校 上田 萌々香

港区の生物現況調査の資料を参考にして私はこう思いました。私が暮らす港区は、赤坂御用地や自然教育園などの古くからの緑地がたくさん残され、多様な生物相が見られ、生物の生育や生息地の拠点としても重要な役割を果たしていることを知りました。

ニュースでは、地球温暖化が取り上げられています。私の身近なところでも、様々な現象があることを学ぶことができました。森羅万象について色々な角度からも考えることができ作文を書くチャンスに感謝しています。恵まれた日本に生まれ環境について、確かに急速な変化が起こっていると思います。本来、自然と調和して生きていけることが最も、大切なことだと改めて考えさせられました。港区には、貝塚が多く、縄文時代にさかのぼり、今の港区にも人が住んでいたことが裏付けされているようです。地形は、大きく台地と低地に分けられ、昔台地から低地までは、樹木で、低地は、江戸幕府が開府するまで湿地だったようです。江戸時代から湿地と海岸線の埋め立てが始まり、埋め立ては、昭和45年頃まで盛んに行われ、現在の海岸線が形成されたそうです。江戸時代には、樹林に囲まれた大名

屋敷や寺社が多く造られ、今も名残が残されているものもあるそうです。そんな貴重な樹林環境が今の私が暮らす、背景にあります。樹林環境が整っているので、鳥や動物も、当然、生息しやすい環境だったと思います。歴史上、樹林が最も、古くから生存し続けたと思います。緑が多い環境に、生き物も調和しやすく、森羅万象の流れの一つになったと思います。古くからの樹木は、たくさんの環境の移り変わりを知っていることと思います。その樹木が話せなくても、その時代に生きてきた人達の事をすべて、知っていると思うと不思議です。作文のテーマにフォーカスすることで、私は、たくさんの気づきを与えられました。樹木は、雨の恵みで育ち続けていますが、私達や鳥や虫達という生き物は樹木からたくさん恩恵を受けています。すべては、つながっていると思うと身近なところからまず、私は、自然ともっと調和し、感謝して、丁寧な生き方をしたいと思えるようになりました。

環境問題については、毎日のように、テレビや新聞で取り上げられて、私の知らない所で政府や企業が調査し研究を続けて、よりよい改善策に取り組んでいるようです。地球にとって、私がこれから、心がけて何か、調和を考えて、実践していくことで、今後の未来にも影響を与えることになると思うと、とても大切な意味があるように思いました。